

# 一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるものです。9月定例会では16名の議員が一般質問を行いました。新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施しています。

ここでは、議会広報委員会が事項別に整理した内容の一部を掲載しています。

一般質問の全文は、12月上旬作成予定の本会議録に掲載します。図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

## 子どもの権利の保障について

子どもの権利の保障について、次の質問が行われました。

質問：子どもがのびのびと自分らしく育つまち鎌倉条例の各条文が掲げている目標について、どのように取り組んでいるか。まず、特別支援教育における取り組み状況、成果および課題について伺いたい。

教育文化財部長：特別支援教育は、共生社会の実現を目指し、障害のあるなしにかかわらず、全ての児童生徒の自立や社会参加に向けて、一人一人の教育的ニーズに合わせた指導や支援を行うもので、特別支援学級の全校設置に向けた取り組みなど、学びの場の拡大を図っている。多様な教育的ニーズへの対応や、子どもたちが安心して学校教育を受けられる環境の実現に向けた校内支援体制を整えていくことを課題として認識しており、教育相談コーディネーターを中心とした組織的な支援の推進

や教職員向けの研修の充実などに取り組みしていきたい。

質問：いじめ防止の取り組みと効果、課題について伺いたい。

同部長：鎌倉市いじめ防止基本方針に基づき、組織的にいじめ防止対策に努めている。さらに、子どもSOS相談フォームを設置し、いじめが困難化する前に相談できる体制を整えている。課題として、いじめを受けた側、行った側双方が納得いく解決が困難なケースが多く生じてきていることと認識している。

質問：学校教育におけるLGBTQへの理解促進の取り組みと、当事者への対応について伺いたい。

同部長：学校教育を通じて性の多様性への理解促進や当事者が安心して通うことができる学校づくりのため、教職員に対する研修の実施、道徳の授業などで性の多様性について題材とする、当事者から話を聞くなど、意識の向上や理解促進に努めている。

質問：不登校児童生徒の現状把握と主な原因、対応状況について伺いたい。

同部長：不登校児童生徒数は近年増加傾向にあり、無気力・不安や学業の不振などが原因となっている。担任教師以外にも学校内組織として教育相談コーディネーターなどを中心に一体的な対応に努めており、必要に応じて、スクールカウンセラーなどの専門職員の支援へつなげるほか、教育支援教室などの運営を実施している。

質問：困り事の相談体制として、タブレットを利用した子どもSOS相談フォームが運用されているが、その運用状況、課題を伺いたい。

同部長：子どもSOS相談フォームはタブレットの画面上のアイコンから容易にアクセスでき、子ども自身が相談できるため、効果は大きいと考えている。市内の公立の小・中学校に限られること、子どもの一人一人のSOSを出す力をいかに育んでいくかということ、課題として認識している。

質問：ひきこもりの現状把握と、支援体制について伺いたい。

健康福祉部長：生活福祉課にひきこもり支援員を配置し、現状把握に努めているが、相談に来ることができない方がいると考えている。関係各課で組織する連絡会において、子どもを含む幅広い年代に対し、必要な支援につなげることができると、体制づくりに取り組んでいる。今後は、相談窓口の周知や、地域の支援機関と連携し、状況に合った支援を実施していく。

質問：地域での多世代交流について、取り組み状況を伺いたい。

同部長：老人福祉センターに専任職員を配置し、小学生以上を対象としたイベントなどを実施している。拠点として同センターを活用していくとともに、関係団体の協力を得て多世代交流の推進を図っていく。

質問：児童虐待を認知した場合、市と児童相談所はどのように対応しているか。また、児童虐待防止対策について伺いたい。

こどもみらい部長：児童相談所と市の両方が通告先となっており、専任の相談員や職員が聞き取りを行った上で、子どもの安全確認を最優先に、対応方針を決定する。その後、虐待の状況がなくなるまで関係機関と連携し、支援を継続する。また、相談できる場として、子どもと家庭の相談室を設置し、虐待相談に限らず、児童と家庭に関わる様々な相談を受けている。

質問：ヤングケアラーの把握や支援についてどのような取り組みをしているのか。

同部長：社会的認知度を向上させることが重要と考えており、相談窓口の案内カードの配布やホームページ等の周知に努めている。ケアラー支援検討委員会では、ケアラー全般への支援として、実数把握や支援策の検討、支援条例制定に向けた取り組みを行っている。

質問：経済的困窮を抱える家庭への進学支援について伺いたい。

同部長：ひとり親家庭はこども相談課で、それ以外の家庭は生活福祉課で、各種就学援助制度について案内し、利用につなげている。また、令和2年4月から、独立行政法人日本学生支援機構による給付型の奨学金制度がスタートしており、制度の充実が図られている。

質問：子どもが自由に意見や夢を話せる場、自分らしく遊んだり休んだりできる場について、それぞれどのような場なのか、また、取り組み状況を伺いたい。

同部長：自由に意見や夢を話せる場として、表明しやすい環境づくり、発言したことで不利益が生じないような体制、市政に反映させる仕組みづくりなど、具体的な場の設定に向けた検討を行っている。自分らしく遊んだり休んだりできる場として、家庭以外での、居心地の良い場を想定している。放課後かまくらっ子や冒険遊び場などを設置しており、引き続き場の確保や充実に努めていく。

## 市役所本庁舎移転問題について



市役所本庁舎移転問題について、次の質問が行われました。

質問：市役所本庁舎移転問題について伺う。移転の根拠となる手続きとは何か。何をもちて移転を決定したと言えるのか。

まちづくり計画部長：本庁舎の移転については、平成28年度の鎌倉市本庁舎整備方針、同29年度の鎌倉市公的不動産活用推進方針により定めた深沢地域整備事業用地への移転の方針、令和元年度の鎌倉市本庁舎等整備基本構想など、必要な行政計画を策定し、方針決定を行ってきた。これらの方針に沿って、現在検討を進めているが、移転の決定については、地方自治法第4条に基づき、鎌倉市役所の位置を定める条例(以下、「位置条例」という)の改正が必要であると認識している。

質問：令和4年度に示された鎌倉市新庁舎等整備基本計画素案では、同5年度から基本設計、同6年度から7年度に事業者の選定、同7年度から10年度にかけて実施設計、施工などを行っている、同10年度に供用開始という事業スケジュールが掲載されている。本庁舎を移転するための位置条例の改正が可決されていない状況で予算が必要な基本設計、詳細設計を進めることに問題はないのか。

同部長：地方自治法には、位置条例を改正する提案時期について、明確な定めはないことから、問題はないものと認識している。

質問：行政計画を策定する前に、根拠となる位置条例の改正を提案すべきではないか。

市長：新庁舎の整備や市庁舎現在地の利活用の取り組みの情報発信を行いつつ、市民や議会の理解を深めながら事業を進め、速やかに条例改正の時期を判断していきたいと考えている。

## 一般質問項目一覧

一般質問の録画中継映像は、こちらからご覧ください▶



- ① 森 功一 (自民党)
  - 1 街路樹の維持・管理について
  - 2 災害時帰宅困難者の受け入れについて
  - 3 適格請求書等保存方式(インボイス制度)の周知について
  - 4 鎌倉駅周辺の喫煙環境の整備について
- ② 納所 輝次 (公明党)
  - 1 子どもの権利の保障について
  - 2 部活動の地域移行について
- ③ 武野 裕子 (日本共産党)
  - 1 公共施設再編計画と学校施設整備計画
- ④ 保坂 令子 (ネット)
  - 1 プラスチックの資源化について
  - 2 「ふるさと納税」と市税の減収について
- ⑤ 千 一 (無所属)
  - 1 小さき花の園の職員をもっと多く
  - 2 横断歩道に点字ブロックを
  - 3 姉妹都市間のヘルパー派遣
- ⑥ くり林 こうこう (無所属)
  - 1 非喫煙者/喫煙者双方にとってより良い街づくりに向けて(喫煙所の設置等)
  - 2 子育て関連事業の充実に向けて
  - 3 公園・道路の利活用について(地域や動植物との共生)
  - 4 市内の景観重要建築物について
  - 5 投票の利便向上に向けて
- ⑦ 高野 洋一 (日本共産党)
  - 1 市役所本庁舎移転問題について
- ⑧ 長嶋 竜弘 (無所属)
  - 1 新型コロナウイルス感染症対策の失敗を検証する
- ⑨ 竹田 ゆかり (かわせみ)
  - 1 「地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進のあり方に関する調査研究」事業について
  - 2 「かまくらULTLAプログラム」について
  - 3 「教員の未配置問題」の解消に向けて(II)
- ⑩ 後藤 吾郎 (ヴィジョン)
  - 1 鎌倉市におけるスポーツ振興について
  - 2 ドッグランを作りたい、増やしたい
- ⑪ 児玉 文彦 (公明党)
  - 1 災害時のペット同行避難・同伴避難に関して
- ⑫ 吉岡 和江 (日本共産党)
  - 1 深沢まちづくりに関連して
- ⑬ 藤本 あさこ (鎌倉アプデ)
  - 1 インクルーシブな場としての公園整備の進捗について
  - 2 特別支援級の設置について
- ⑭ くりはら えりこ (かわせみ)
  - 1 鎌倉の課題と目指す方向性について(SDGs目標3・8・11)
  - 2 歴史文化遺産の保存整備と経済効果について(SDGs目標4・11)
  - 3 公共施設の更新と複合施設化について(SDGs目標11・17)
- ⑮ 大石 和久 (公明党)
  - 1 市長の政治姿勢について
- ⑯ 中里 成光 (ゆめみらい)
  - 1 無電柱化について
- ⑰ 新たな海外都市提携事業に関して

※ゆめみらい=夢みらい鎌倉 ヴィジョン=鎌倉のヴィジョンを考える会 公明党=公明党鎌倉市議会議員団 日本共産党=日本共産党鎌倉市議会議員団 ネット=神奈川ネットワーク運動・鎌倉 自民党=自由民主党鎌倉市議会議員団 かわせみ=鎌倉かわせみクラブ 鎌倉アプデ=鎌倉アップデートチャレンジ